

なえちゃん★ぼーちゃんの

園研究のはな・し

マスコットキャラクター
なえちゃん &
ぼーちゃんです！



みなさま、二んにちは！

ひがしなえぼ幼稚園では、札幌市の研究実践園として幼児教育の質の向上を目指し、園の研究や保育に取り組んでいます。

私たちが学び合ったことをなえちゃん★ぼーちゃんの 園研究のはなし

でお知らせします。子どもたちの成長を保護者・地域の皆様と一緒に見守り、支えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

研究主題 「幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて」（札幌市立幼稚園共通）

副主題 『きらきら わくわくする遊び』の充実とは

視 点 主体的・対話的で深い学びの充実



副主題『きらきらわくわくする遊び』の充実とはは、幼児が主体的に環境に関わり、心弾ませ創り出す遊びと考えています。興味や関心をもとにやってみたいことに心を動かしながら夢中になって遊び、遊びをより面白くするために試したり工夫したりすることで「遊び込む」力が育まれるような園生活の在り方を求めて研究をしています。

昨年度は研究3年計画の2年次として、「遊びが幼児自身の遊びになっているか（主体的）」「きらきらわくわくする遊びの中で、どのような対話があり（対話的）、どのような深い学びがあるのか（深い学び）」の視点から教師の援助と環境の構成について研究を進めてきました。

その中で、幼児が遊び込む姿の見取りが弱いことや、深い学びが得られるための援助や環境構成が十分ではないことが分かりました。

そこで今年度は、**教師の見取る力を高め、遊びや幼児の思いに合った援助や環境構成**を行うことで「遊び込む力」が育まれ「深い学び」へとつながって行くと考えて研究を進めていきます。



子どもたちの遊びがいろいろな学びにつながるように、先生たちが援助したり、環境の構成を考えたりしているんだね！

研究の進め方は…

- 実践事例
- 園内研修
- 東苗穂小学校との研修交流





実践事例を基に保育の実践についての話し合いから
『年長 おばけやしき』（抜粋） 年少～年長4月



話し合いからわかったこと
教師の見取り

●年少は個々で雰囲気を楽しみ、年中は個の楽しさから友達と一緒にがなんとなく楽しい、年長は友達と一緒にすることが楽しいと、年齢に合わせ何が楽しいか見取ることが大切。

●一人一人が今までやりたいことを十分に楽しんできていることで、年長になると、自分の役割を見つけて楽しもうとするようになる。

●イメージが共有できたことで、友達の考えに気づき、意識して動いたり、協力しながら進めたりしている。



援助

年少2学期～

・年長児のお化け屋敷を経験し、お化けになることを繰り返し楽しむ。**教師も一緒に逃げたり驚いたりする。**

年中3学期

・年長と同じ所で個々のイメージでお化けになりお化け屋敷をする。

・お客さんは気付いた人が来て、思い思いに驚かす。

教師がイメージするお化け屋敷の形にこだわらず、個々のイメージを認める。

年長4月

・友達とお化けになっているので、教師が「何をしたいの？」と聞くと「驚かせたい。」と全員が声を揃えて答える。**目的が明確になるように聞く。**

・驚かせ方を相談し、それぞれが実演するがその先が進まない。「入口は？」と教師が聞くと、入口を作るA、それを見て出口を作るB。そして「ここで驚かすの。」「違うこっちがいい。」など**もめることもあったがいろいろな考えが出る。見守りながら必要に応じて、イメージが実現するように支える。**

・教師がお客さんになり、驚かす練習を繰り返し行くと、お客さんが通るときに驚かすのがいいと分かり、流れが自然にできる。**個々の動きを全体に知らせる。実際に動いて個々の動きを確認し、工夫しているところは全体に知らせる。**

・お客さんが入ると、今までとは違い、動きに合わせた驚かし方をし、驚く様子に満足そうな表情となる。
・その後、3日間お化け屋敷を楽しむ。



話し合いからわかったこと
深い学びへのつながり

●教師の固定概念で、幼児の考えを否定してはそれで終わってしまう。幼児が見方考え方を働かせている姿を受け止め、幼児の言葉や考えを信じて見定めていく援助が大事ではないか。

●もめることは、自分の考えを主張する経験となった証。一見、対話に見えないがこれも対話的な姿と捉えてよいのではないか。意見のすり合わせをしているのだと考える。

●伝えられたことに反応したり、答えたりする力がもっと育つことで、気づきや発見の喜びを感じ、試行錯誤しながら遊びを進めて行く力が育まれると考える。



教師の見取りについては、教師は幼児は何が楽しいのかを年齢に合わせて見取ることや、幼児が「見方考え方」をどう働かせているかを考えることが大事であることが分かった。また、深い学びへつながる姿については、教師は幼児の考えを信じて見定める援助をしたり幼児が伝えられたことに反応したり答えたりする力が育つようにすることだと分かりました。今後も、きらきらわくわくするような遊びが毎日展開され、遊び込む子どもたちの姿があふれる幼稚園を目指して研究を進めて行きます。

ご一読いただき
ありがとうございました。

